

議員出前講座 学生感想



【大分県立芸術文化短期大学】
◆平成29年5月30日（火）
◆1年生 180人
◆派遣職員：吉岡議員、堤議員

- 意志決定の場に女性がいなければ、男女格差がなくなれないというのはその通りだと思いました。
- 自分が女性であることを誇りに持ち、社会のために行動したいです。
- 自分の未来のために、自分の考えをもって行動しなければならないと思います。
- 自ら県議会の活動を知っていく努力をしていきたい。自分も大分県民の1人として知っておくべきことだと思った。
- 議会、議員がどんな仕事をしているのか全く知らなかったのを知ることができてよかった。これから議会の中継を見たり、もっと関心をもとうと思った。
- いろいろなところで女性の目線は必要であり、女性の仕事とされているものにも男性の目線が必要だと思った。



- 私も他人事にせず、県議会議員のように大分をよりよくするために活動していきたいです。
- 自分にも身近に何かできることはないか考えたり、意見をもちたいと思いました。自分が真剣に考え関わることが、地域の住みやすさ、自分の幸せにつながると思いました。
- 議会がどんな活動をしているか知らないの、これを機にホームページを見ようと思いました。もっと政治に関心を持って選挙に行こうと思いました。
- 県会議員の定数は43人で思っていたより少ないと感じました。少ない議員で県を守っているというのは大変ありがたいことです。

